

# 就任のごあいさつ



常勤統轄副管理者  
影山 喜文

去る12月24日雲南病院組合

議会において統轄副管理者に選

任されました影山喜文でござい

ます。医療を取り巻く環境は

大きく変貌し、診療報酬の引き

下げや医師不足、看護師不足な

ど地域医療の存亡にかかる状

況となつております。

さて、雲南病院は10町村から

町村合併後は1市2町による一

部事務組合方式で運営をしてい

ます。各市・町とも財政の健全化は最重要課題となつており、病院経営も悪化の一途をたどつておりその対策が急がれることでござります。

私は医療の現場に対しては全くの素人でございますが、管理者である速水市長が掲げておられる公約の一つであります「雲南病院の経営健全化」ということに対しても、誠心誠意取り組んでまいりたいと考えております。

今後、平成23年4月を目途に雲南市立病院として経営をしていくことになりますが、赤字になれば「国や自治体本体が何とかしてくれるだろう」という甘えを捨てて、病院職員一人一人が地域医療への貢献と自分の病院を守るために何をなすべきかを、早急にかつ真剣に考える必要があると考えております。

医療と教育は定住条件の大

きな要素だと思っておりますが、

雲南病院をどう守り育していくか非常に大事な時期に、住民の皆さんによる病院を支えていた

だけの組織が設立されたことはまさに心強い限りでございます。

今後はこうした住民の皆さん方の協力と支援をいただきながら、病院スタッフの意識改革に努め地域医療の重要性を認識しつつ最大限の努力をいたす覚悟でございますので、なにとぞご協力いただきますよう切にお願いいたします。

いたしまして就任のご挨拶とい

# 新春のご挨拶



公立雲南総合病院 院長 大塚昭雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、ご健勝でご家族お揃いで新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

昨年末にはアメリカ発の金融危機が瞬く間に全世界に及び未曾有の大不況となりました。日本における影響は深刻で雇用不安が拡大しています。今年は少しでも明るい方向が見えることを願って止みません。

さて、医療を取り巻く環境も依然として厳しく、医師不足のみならず看護師、介護職の不足は一向に改善される兆しがありません。当院においても医師不足が続き住民の皆様に御心配、御迷惑をお掛けし申し訳ありません。そのような中で昨年4月には人工関節センターを開設し圏域内はもとより県下、県外からの患者様に受診していただき、手術症例数が大幅に増加していることを御報告致します。

地域医療の崩壊が叫ばれる中、住民の皆様には、大東町においては「がんばれ雲南病院・市民の会」、加茂町においては「雲南病院を支えよう加茂市民の会」を結成していただき感謝致します。

地域医療を守る為に雲南病院の市立病院化の検討も始まっています。

しばらくは厳しい状況は続くものと思われますが、雲南地方の住民の皆様の命と健康を守る為に職員一同努力してまいります。

住民の皆様の更なる御理解、御支援をお願い申し上げますとともに、御多幸を祈念し新年の御挨拶と致します。

## 公立雲南総合病院組合議員の構成について

雲南市議会議員の改選に伴い、平成20年12月24日、公立雲南総合病院組合12月臨時議会において議員構成替が行われ、次のとおりになりました。

職名	氏名	市町名	職名	氏名	市町名
議長	堀江 真	雲南市	議員	周藤 強	雲南市
副議長	那須 穂士輝	飯南町	議員	高橋 雅彦	雲南市
議員	千原 祥道	奥出雲町	議員	山崎 英志	雲南市
議員(監査委員)	福本 修	奥出雲町	議員	難波 俊司	飯南町
議員	三成 輝夫	奥出雲町	議員	安部 朋次	飯南町
議員	小林 真二	雲南市	監査委員(学識経験)	佐藤 竹昭	雲南市
議員	光谷 由紀子	雲南市			